

取扱説明書

DLC-179X

DLS-178X

コンポーネント・2ウェイ・スピーカーシステム

コアキシャル・2ウェイ・スピーカーシステム

68-04123287-A

Printed in China (S-589)

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。

禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

注意

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。

禁止

強制

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

注意

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

禁止

コードをシートレールにはさんたり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

注意

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。

禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。

禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。

注意

車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。

禁止

●ご愛用者WEBアンケートにご協力ください

以下のインターネットウェブサイト（弊社ホームページ内）にてご愛用者WEBアンケートにご協力ください。尚、回答者の個人情報を弊社以外で利用することはございません。
https://secure.alpine.co.jp/ps/

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL：0570-006636

全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL：048-662-6636

●電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30

●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX：048-662-6676

●アルパインホームページ：http://www.alpine.co.jp

Wonderful Heart Network

あなたの心とクルマを優しくつなぐネットワーク

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

保証書 / アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪い時 お買い上げ店、またはインフォメーションセンターにご相談ください。

- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店または下記の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

(SP)	(平成17年8月1日現在)
お問い合わせ窓口	

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口	
お問い合わせはインフォメーションセンターへ ●インフォメーションセンター <一般回線ご利用のお客様用> TEL：0570-006636 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。 <携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用> TEL：048-662-6636 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く9:30～17:30 ●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。 FAX：048-662-6676 ●アルパイン ホームページ http://www.alpine.co.jp	

営業所・販売名	電話番号	住 所	担当都道府県
北海道エリア	札幌オフィス 011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア	仙台オフィス 022-239-5331	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小瀬字坊敷10-4	宮城県・山形県・秋田県
	秋田オフィス 018-825-3811	〒990-0051 福島県仙台市青葉区山崎1丁目番31番号	福島県
	盛岡オフィス 019-664-1210	〒020-0114 岩手県盛岡市盛岡4丁目番2号、オリエントビル	青森県・岩手県
北関東エリア	北関東オフィス 048-664-7701	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区沼田町2丁目番2号	東京都都心・西部埼玉・群馬県・栃木県
	松本オフィス 0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立43番地の11 浅津ビル102号	長野県・山梨県
	新潟オフィス 025-257-6860	〒950-0852 新潟県新潟市中央区1丁目番6 エポセレントビル	新潟県
東関東エリア	東関東オフィス 03-5669-5225	〒133-0061 東京都江戸川区横場4-4-6	東京都都心・千葉県・茨城県
南関東エリア	南関東オフィス 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新横浜1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都都心・南関東・静岡県
中部圏エリア	中部オフィス 053-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区横子6丁目108	静岡県（大井川以西）
	北沢オフィス 076-240-8111	〒821-8695 石川県金沢市金沢3丁目12番1号	富山県・石川県・福井県
近畿圏エリア	大阪オフィス 06-6386-4136	〒564-0041 大阪府大阪市東区3丁目18番14号	大阪府・奈良県・和歌山県
中国圏エリア	岡山オフィス 086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号	岡山県・広島県・香川県
	広島オフィス 082-846-1175	〒733-0138 広島県広島市安佐南区安産1丁目1番10号	広島県・山口県
	徳島オフィス 087-265-3366	〒770-0871 香川県高松市高松4丁目1-11	徳島県・愛媛県・高知県
九州エリア	福岡オフィス 092-452-8870	〒816-0093 福岡県福岡市港南区新3丁目22番2号 ヒロタビル1号	福岡県大分県佐賀県熊本県鹿児島県宮崎県
	長崎オフィス 095-727-1591	〒854-0074 長崎県長崎市山川町3013	長崎県
アルパイン販売所（株）	075-551-5405	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小路113番地の1	京都府・滋賀県
アルパイン営業所（株）	0784-54-6273	〒675-0067 兵庫県神戸市中央区三宮町1番地13001	兵庫県
マーズエンタープライズ（株）	088-884-6800	〒760-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番6号	高知県
（株）パルリス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安部217番地3	沖縄県

使用上のご注意

注意

大音量で鳴らすとスピーカーが破損する場合があります。
車外の音が聞こえる音量でご使用ください。

はじめに

ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 不明な点はお買い上げ店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

- 本説明書の取り付け情報は、平成17年8月現在の調査に基づく内容です。

1. 準備する

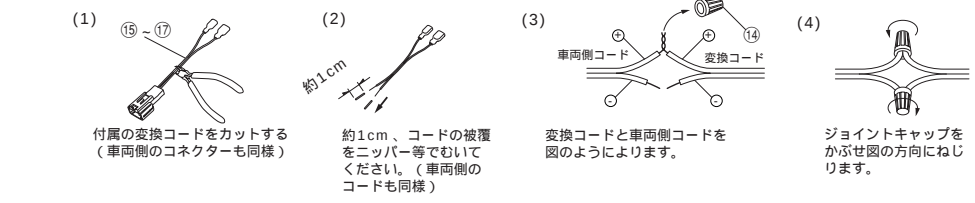
- 1 構成部品を確認する。
構成部品一覧を確認してください。

- 2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

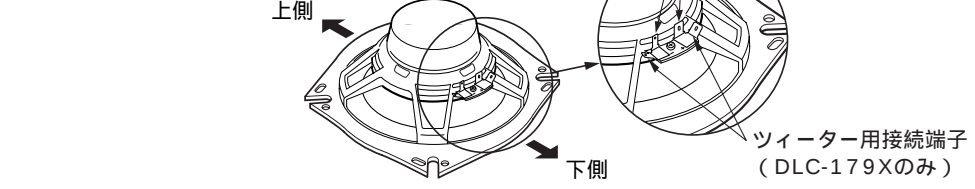
2. 取り付ける

取り付け前の注意

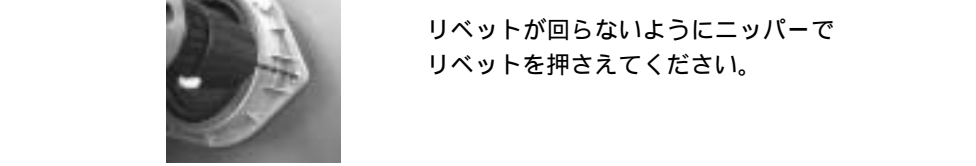
- ジョイントキャップの使用
付属のコネクターが合わない場合はジョイントキャップをご使用ください。
車両側のコネクターの極性を切断前にお確かめください。



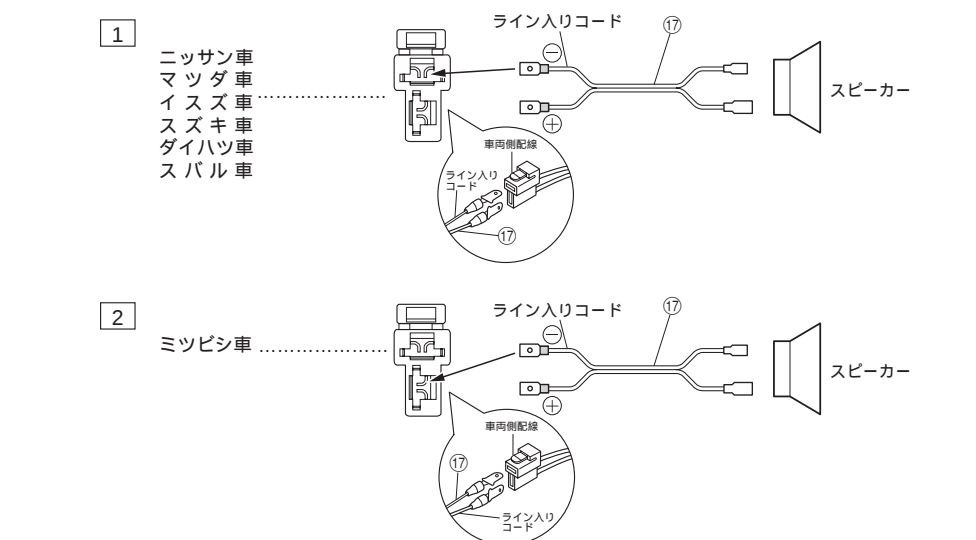
- スピーカー取り付けの注意
スピーカーをドアに取り付ける場合は、スピーカー端子が下側になるように取り付けてください。



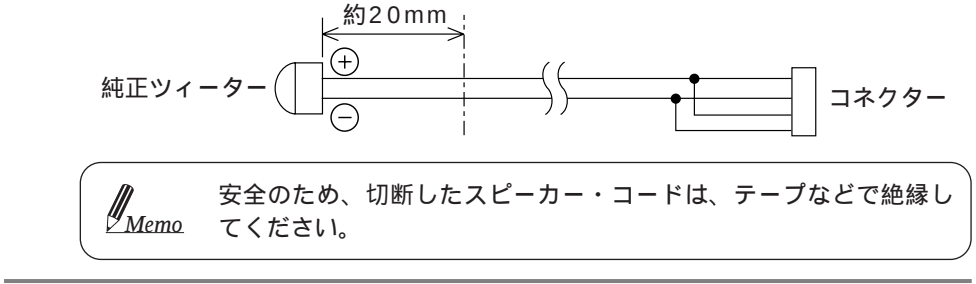
- リベットの取外方法
電気ドリルを使用してリベットを取り外してください。
（φ4mm～φ4.5mmを使用してください。）



- 車両側コネクター「T型タイプ」時の注意（平端子の極性）



- ウィッシュの配線について
純正ツイーターに接続されているスピーカー・コードを切断する必要があります。
純正ツイーター本体から約20mmの所でスピーカー・コードを切断してください。
コネクターは取り外さないでください。



2 代表車種の取り付け例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

3. 確認する

- 1 不自然な当たりがないことを確認する。
特にスピーカーの端子が当たっていないかを確認してください。

- 2 コード類を固定する。
突起部に当てたり、窓ガラスやドアの開閉時に、コードを傷めないように注意してください。

- 3 イグニッションキー / カーオーディオ電源をONにして、本機から音が出ることを確認する。

- 4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

構成部品一覧

① スピーカー本体（ウーハー）	× 2
② スペーサー（トヨタ / ニッサン用）	× 2
③ スペーサー（ミツビシ用）	× 2
④ クッション（中）	× 2
⑤ クッション（細）	× 2
⑥ クッション（太）	× 2
⑦ φ4 × 16mm	× 8
⑧ φ5 × 16mm	× 8
⑨ φ5 × 20mm	× 2
⑩ φ6 × 20mm	× 8
⑪ ワッシャー（φ4用）	× 8
⑫ ワッシャー（φ5用）	× 6
⑬ リクリップ（φ5用）	× 6
⑭ ジョイントキャップ	× 4

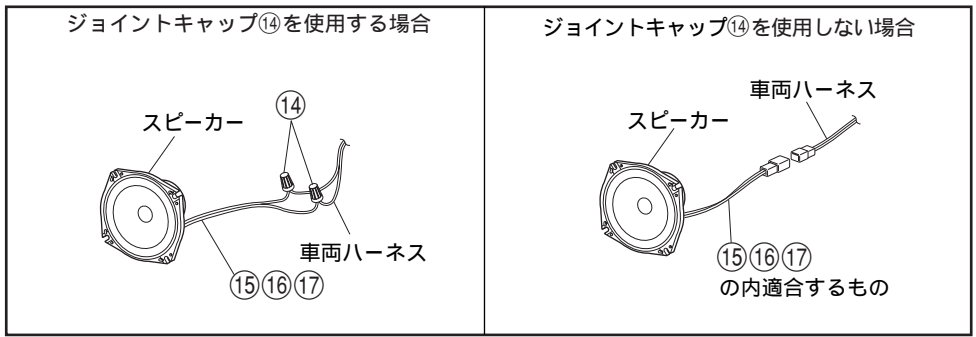
⑮ 変換コード（トヨタ用）	× 2
⑯ 変換コード（ニッサン用）	× 2
⑰ 変換コード	× 2
⑱ コード固定テープ（大）（DLC-179Xのみ）	× 2

車種別使用付属品一覧

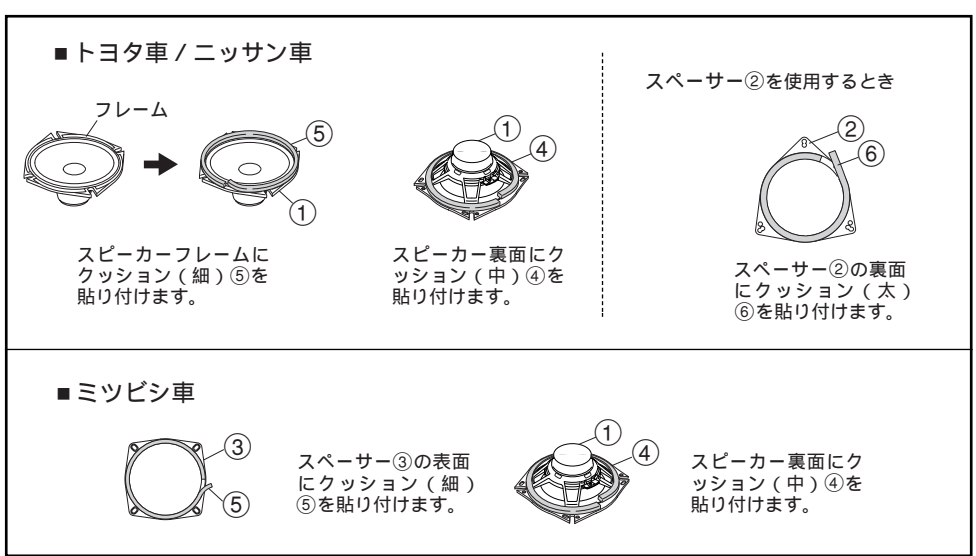
車 種 名	使用 付 属 品
ヴィッツ	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮
ウィッシュ	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮
アルファード	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮
エスティマ	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑮
アイシス	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑮
ティーダラティオ / ティーダ	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑮
ノート	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑮
キューブ	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑮
エルグランド	② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑪ ⑮
エリシオン ¹	④ ⑤ ⑦ ⑪
オデッセイ ¹	④ ⑤ ⑦ ⑪
ステップワゴン ¹	④ ⑤ ⑦ ⑪
レガシィツーリングワゴン ² / レガシィB4 ²	④ ⑤ ⑦ ⑪ ⑰

1...別売スペーサー（KTE-101S）が必要です。
2...別売スペーサー（KTE-103S）が必要です。

接続方法



クッションの使用方



トヨタ / ニッサン用スペーサーネジ穴使用位置例

車 種	ネジ穴位置		
	A	B	C
ヴィッツ（H17年2月～現在）	A	①	①
ウィッシュ（H15年1月～現在）	A	①	①
アルファード（H14年5月～現在）	A	①	①
エスティマ（H12年1月～現在）	A	1	1
アイシス（H16年9月～現在）	A	①	①
ティーダ（H16年9月～現在）	A	③	3
ノート（H17年1月～現在）	A	3	3
キューブ（H14年10月～現在）	A	3	3
エルグランド（H14年5月～現在）	A	③	③

表中の○は取付状態で頂点（上側）となる穴位置を示します。

